



# 歴史をつなぐ ~古信濃川跡めぐり

流作場の始まりは、信濃川の中州が寄り付いて成長し島となった土地でした。「付寄島」と呼ばれたその島と沼垂町との間の浅瀬となり、「古信濃川」と呼ばれるようになりました。かつては多くの船が行き交い、生活に欠かせない川でしたが、時代の変化にともなって昭和40年頃ま

で埋め立てられてしまいました。しかし、川としての姿は残っていても、排水機的位置や道路の形などにその跡を見ることができます。「古信濃川」の跡をたどると、昔のダイナミックな地形の変化と、それら乗り越えてきた町の成り立ちを感じることができます。



信濃川右岸、右下のきりかげ部分が古信濃川の入口  
正面にポンプ場、その後ろが古信濃川の流れの道です  
信濃川右岸のNST社屋テラスは通行自由



## かつての信濃川右岸・土手道

古信濃川跡上にある「マツヤ」の前から、今は道路になっている古信濃川跡を見た風景です。道路のカーブは、川の流れの名残です。ところで「マツヤ」はロシアチョコの専門店。ワタクシはパッケージのマトリョーシカです。いろんなフルーツやクリームのチョコはどれも美味しいマトリョーシカ!



ここが古信濃川跡!



ここが古信濃川跡!



## ここが古信濃川跡!(中央区天神尾)

流れに沿って歩けば、



ここが古信濃川跡!(中央区天神尾)



## 住宅街の中に忽然と現れる赤い鳥居

住宅街の中に忽然と現れる赤い鳥居は、「水島稲荷神社」のもの。文化9年(1812)、農民仁二郎、市左衛門等6人が度重なる作流れに対処し石宮を建てたのが始まりとされています。やはり洪水の被害は深刻だったのです。昭和53年(1978)に建立地が上越新幹線の用地となったため、現在の場所に移されました。



水島稲荷神社(中央区水島町)

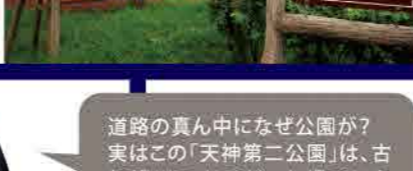


水島稲荷神社



## 古信濃川跡

道路の真ん中になぜ公園? 実はこの「天神第二公園」は、古信濃川の土手だった場所にあるパンダ。ココロの目でじーっと道路を見ていると、川の流れてくるパンダよ~!



道路の真ん中になぜ公園? 実はこの「天神第二公園」は、古信濃川の土手だった場所にあるパンダ。ココロの目でじーっと道路を見ていると、川の流れてくるパンダよ~!



## 東公園

ポクがいる東公園の向いに、ほんぽーと新潟市立中央図書館と「古信濃川の流れありき」の碑があるケロ。古信濃川について説明してある案内板もあるから、読んでケロケロ。



東公園



## 古信濃川跡

ここが古信濃川跡!



ここが古信濃川跡!



## 古信濃川の位置

ここに古信濃川の出口



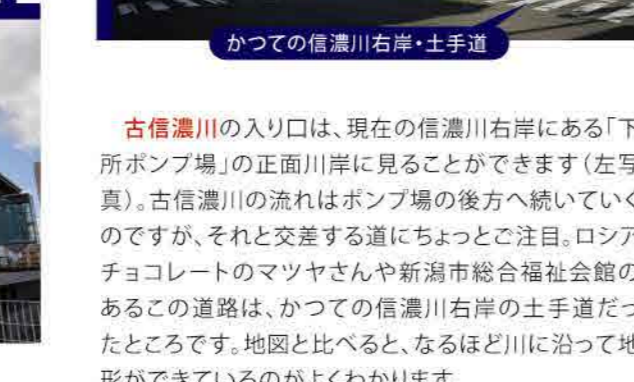
ここに古信濃川の出口



古信濃川の入口



正面にポンプ場、その後ろが古信濃川の流れの道です



信濃川右岸のNST社屋テラスは通行自由



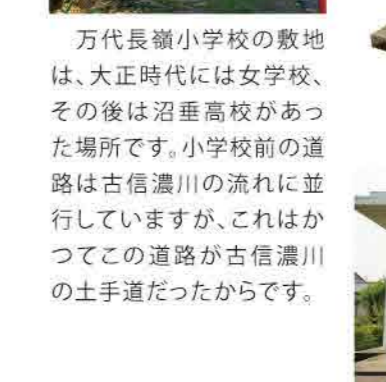
水島稲荷神社(中央区水島町)



ここが古信濃川跡!



東公園



古信濃川跡から路地ごとに見る万代長嶺小学校。正面に石碑が見えます。

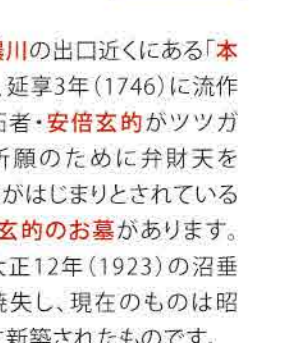


古信濃川の出口近くにある「本立寺」は、延享3年(1746)に流作場の開拓者・安倍玄的がツツガ虫撃退祈願のために弁財天を祀ったのがはじまりとされているお寺で、玄的のお墓があります。本堂は大正12年(1923)の沼垂大火で焼失し、現在のものは昭和30年に新築されたものです。

「流作場の碑」がある三社神社も安倍玄的の場所、この土地の守り神じゃ。詳しくは裏面を眺めよ!



三社神社



古信濃川の出口

にぎわい市場ピアBandaiの脇に「古信濃川出口」があります。対岸の朱鷺メッセが大きく見え一す。



古信濃川出口



古信濃川出口

こちらは古信濃川ポンプ場です!



古信濃川ポンプ場

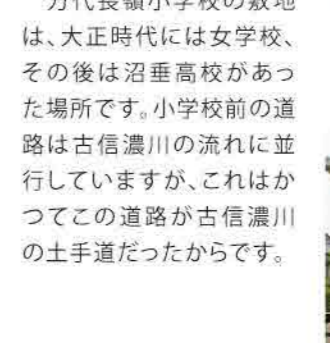


古信濃川出口

古信濃川について案内板



古信濃川について案内板



古信濃川について案内板

東跨線橋を渡っていきまーす



東跨線橋を渡っていきまーす



東跨線橋を渡っていきまーす

ブレーカ1を抜けた先に続く道(古信濃川跡)沿いに、「キウイのある家」発見!



ブレーカ1を抜けた先に続く道(古信濃川跡)沿いに、「キウイのある家」発見!



ブレーカ1を抜けた先に続く道(古信濃川跡)沿いに、「キウイのある家」発見!

この辺りが古信濃川跡!



この辺りが古信濃川跡!



この辺りが古信濃川跡!